

平成25年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○苦情・問合せ・相談の総件数

1,405件（117件／月）

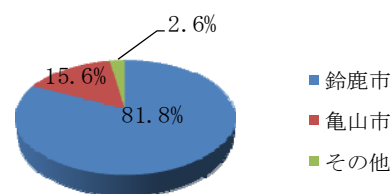
前年度比111.3%，143件増

○相談者の住所別

鈴鹿市 1,149件

亀山市 219件

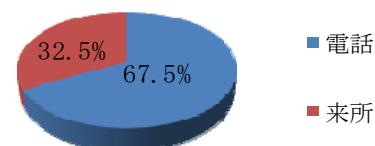
他市 37件



○相談方法別

電話による相談 948件

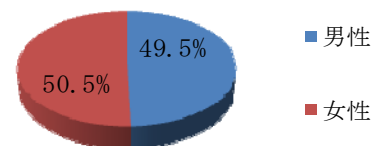
来所による相談 457件



○性別

男性 695件

女性 710件



○年代別

20歳未満 37件

20歳代 124件

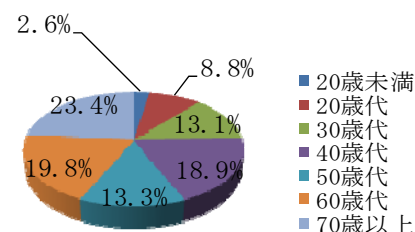
30歳代 184件

40歳代 266件

50歳代 187件

60歳代 278件

70歳以上 329件



○弁護士相談件数

94件（うち多重債務相談18件）

2. 相談の内容

○電子媒体（パソコン・携帯電話）における架空請求：209件（前年度253件）

パソコンや携帯電話画面での架空請求・不当請求に関する相談で、前年度に比べ44件減少していますが、全体の相談件数の約15%を占めています。

携帯電話に「私の話相手になってください」、「私の遺産を受取ってください」などのメールを送り、出会い系サイトに誘導し、多額な通話料を請求する悪質サイト業者に関する相談が、幅広い年齢層で上位を占めています。

○住宅リフォーム，新增築トラブル：78件（前年度59件）

相談の多くが高齢者や一人暮らし世帯を狙った訪問販売での屋根工事，住宅リフォーム，新增築トラブルに関する相談です。

○送りつけ商法：77件（前年度43件）

注文していない高額な健康食品を送りつけるという商法に関する相談で，主に一人暮らしの高齢女性からの相談が多く，昨年度に続き相談件数が急増しています。

○融資サービス（サラ金・ヤミ金）相談：74件（前年度90件）

携帯電話によるヤミ金業者からの借金（090金融）の相談は減少傾向にあり，多重債務問題に関する相談も前年度に比べ減少しています。